

教職員研修会サポート対象講座

センター受講者の学びをてがかりに、校内研修を通して、
お互いの実践の「授業観」や「子ども観」を交流しませんか。
センター専門主事が、そんな校内研修運営をお手伝いします。

学校づくり・学級づくり

① あなたが大事にしている「観」はなんですか。お互いの「観」を語り合いませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|-----|------------------------------------|---------|-----|
| 小中特 | 更新しつづける教育観 ～多様な一人ひとりの学びを保障する教室づくり～ | 6月4日(火) | 79 |

② カリキュラム・マネジメントの実践方法を、教職員みんなで対話を通して考えてみませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|------|-------------------------|----------|-----|
| 小中高特 | 学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント | 6月28日(金) | 41 |

③ ICTってとても効率的！ すぐにでもできそうなことが意外にたくさん見つかります！

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|------|--|---------|-----|
| 小中高特 | 学校組織が駆動するICT活用の可能性 ～チーム学校につなげる実践のアイデア～ | 7月5日(金) | 41 |

④ 資質・能力の育成に向けた学級づくりについて、全学級に広げてみませんか。学級づくりについて語り合しましょう。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|----|------------------------------|----------|-----|
| 小 | 小学校 学級づくり 基礎 ～人間関係をたがやす学級活動～ | 7月12日(金) | 55 |
| 中 | 中学校 学級づくり 基礎 ～人間関係をたがやす学級活動～ | 7月25日(木) | 55 |

⑤ 「チーム学校」に向けた学び合いの場を作りませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|------|-------------------------------|---------|-----|
| 小中高特 | 学級づくり・学校づくり ～近未来の学校と期待される教師像～ | 8月9日(金) | 79 |

⑥ 教育法規の視点から、学校現場で起こりうる事例をもとに、リスクマネジメント、クライシスマネジメントについて学びましょう。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|------|----------------------------|----------|-----|
| 小中高特 | 学校組織マネジメント 応用Ⅱ ～教育法規と学校運営～ | 12月6日(金) | 40 |

ICT・プログラミング

⑦ プログラミングの教材(KeyTouch, micro-bit)も貸し出します。先生方が体験することからはじめましょう。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|-----|------------------------------------|----------|-----|
| 小中特 | 創造性を育むプログラミング教育 ～アナログとデジタルの融合～ | 6月20日(木) | 56 |
| | 子供の願いが連続するプログラミング教育 ～機械学習を用いた問題解決～ | 9月19日(木) | 56 |

⑧ クラウドアプリにより、ICTの効果的な活用について理解を深め、実践につなげましょう。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|------|---|---------|-----|
| 小中高特 | ICTを活用した校務の効率化 基本Ⅰ ～クラウドアプリを活用した校務の効率化～ | 8月9日(金) | 69 |

⑨ 校務の情報化による効率的な校務処理と教育活動の質の改善について一緒に考えてみませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|------|---------------------------------------|----------|-----|
| 小中高特 | ICTを活用した校務の効率化 基本Ⅱ ～実践事例から校務の情報化を考える～ | 10月3日(木) | 70 |

総合的な学習の時間・総合的な探究の時間・道徳

⑩ 児童生徒が考えを深めることができるような発問や補助発問、問い返しを一緒に考えましょう。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|-----|------------------------------|----------|-----|
| 小中特 | 道徳性を育むための授業づくり ～考え議論する道徳の時間～ | 6月17日(月) | 55 |

⑪ 生徒が本気で取り組む総合的な探究の時間にするための具体的な方法を一緒に考えてみましょう。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|----|-------------------------------------|---------|-----|
| 高特 | 総合的な探究の時間 授業づくり ～「探究したい！」と思える授業づくり～ | 8月5日(月) | 56 |

⑫ 少し立ち止まって実践を振り返り、先生同士で語り合いながら探究的な学習の過程を意識した単元構成を考えましょう。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|-----|---------------------------------|----------|-----|
| 小中特 | 総合的な学習の時間の単元構成 ～探究的な学習の過程を意識して～ | 9月20日(金) | 56 |

生徒指導・特別支援教育

⑬ 1人1台端末時代の今、端末を使用することを前提とした情報モラルの育み方を学びませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|------|---------------------------------------|---------|-----|
| 小中高特 | 児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅰ ～情報活用能力としての情報モラル教育～ | 6月3日(月) | 62 |

⑭ 子供の発達課題を踏まえ、不登校の子供や保護者にどのような言葉がけや関わり方をすればよいかを学びませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|------|-------------------------------------|-----------|-----|
| 小中高特 | 児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅱ ～不登校の児童生徒への理解と支援～ | 10月10日(木) | 62 |

⑮ 愛着に課題を抱えている子供、かかわりの難しい子供を理解し、子供と一緒にできるソーシャルスキルを学びませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|-----|-----------------------------------|-----------|-----|
| 小中特 | 児童生徒理解と課題への対応 基本Ⅲ ～子どもに寄り添う理解と支援～ | 10月11日(金) | 62 |

⑯ 保護者との連携・協働ができる関係を築きませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|------|--------------------------|----------|-----|
| 小中高特 | 連携・危機対応 応用 ～保護者対応の具体を学ぶ～ | 6月11日(火) | 63 |

⑰ 「何から始めたら…」 「どうやって？」 など、悩みを一人で抱えず特別支援学級の基本的なことを一緒に考えませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|----|---------------------------------|----------|-----|
| 小中 | スタート！特別支援学級 A ～特別支援学級で大切にしたいこと～ | 6月7日(金) | 65 |
| | スタート！特別支援学級 B ～特別支援学級で大切にしたいこと～ | 6月27日(木) | |

⑱ 学びにくさを抱える子供の背景を知り、子供たちが自分に合った学び方を選択できる授業づくりについて学びませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|----|---|----------|-----|
| 小 | 通常の学級で学びにくさの壁を壊そう！ A ～UDLの視点を生かして(小学校)～ | 6月17日(月) | 65 |
| 中 | 通常の学級で学びにくさの壁を壊そう！ B ～UDLの視点を生かして(中学校)～ | 7月8日(月) | |

⑲ 子どもたちの笑顔につながる支援を目指し、個別の指導計画の作成、有効活用についてチームで見直してみませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|----|------------------------------------|---------|-----|
| 小中 | 個別の指導計画の作成と活用 ～特別支援学級で目指したい活用のあり方～ | 9月3日(火) | 65 |

⑳ 児童生徒の困りを支え、主体的に取り組める自立活動の具体を一緒に考えてみませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|----|--------------------------------------|-----------|-----|
| 小中 | 特別支援学級での自立活動の指導 ～困りを支え 主体的に取り組む自立活動～ | 10月18日(金) | 65 |

学校体育(旧体育センター講座)

㉑ 子どもたちが互いを認め合いながら運動の楽しさを味わっていく授業づくりについて一緒に考えてみませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|-----|-------------------------------|-----------|-----|
| 小中特 | 仲間をつなぐ授業づくり(中南信) ～体育の楽しさを学ぼう～ | 7月11日(木) | 57 |
| | 仲間をつなぐ授業づくり(東北信) ～体育の楽しさを学ぼう～ | 10月11日(金) | 59 |

㉒ 子どもたちが器械運動の魅力を楽しむことができる授業づくりについて一緒に考えてみませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|-----|------------------|---------|-----|
| 小中特 | 体育学習スタート1 ～器械運動～ | 7月6日(土) | 57 |

㉓ 子どもたちがボール運動の魅力を楽しむことができる授業づくりについて一緒に考えてみませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|-----|-----------------------|----------|-----|
| 小中特 | 体育学習スタート2 ～ゲーム・ボール運動～ | 9月19日(木) | 59 |

㉔ 子どもたちが陸上運動の魅力を楽しむことができる授業づくりについて一緒に考えてみませんか。

| 対象 | 講座名 | 講座日 | ページ |
|-----|-------------------------|----------|-----|
| 小中特 | 体育学習スタート3 ～走・跳の運動、陸上運動～ | 10月1日(火) | 59 |

「教職員研修会サポート」申込方法

(※研修講座の受講前でも受講後でも申込みできます)

- 1 日程調整・・・教頭先生から企画調査部へお電話いただき、日時の調整。
- 2 申請書送付・・・申請書をHPからダウンロードし企画調査部へメール送付。
- 3 研修会準備・・・担当主事と連絡を取り合い、研修会の運営・内容を打合せ。
- 4 研修会当日・・・受講者が講師となり、研修会実施(担当主事がサポート)。
- 5 研修会后・・・研修会を振り返り、アンケートを企画調査部へメール送付。

【担当】
長野県総合教育センター
企画調査部

電話 0263-53-8802
メール sogokyoiku-kikaku
@pref.nagano.lg.jp

研修を欠席、遅刻、早退する場合の申請について

欠席、遅刻、早退の申請は「ながの電子申請サービス」から管理職が行ってください。

■ 電子申請の前に、必ず担当部長あてに、電話連絡をしてください。

◇指定研修 0263-53-8804 (教職教育部)

◇希望研修 0263-53-8802 (企画調査部)

「ながの電子申請サービス」による申請の方法

当センターのホームページにある「欠席・遅刻・早退の電子申請はこちらから」のバナー（右図）をクリックし、パスワードを入力すると、指定研修用 URL リンクと希望研修用 URL リンクが表示された画面が開きます。該当のリンク先から「ながの電子申請サービス」の入力フォームに移動します（パスワードは年度当初に管理職に配付）。



「ながの電子申請サービス」のフォームに必要事項を入力し、送信してください。 ※右ページ参照



送信後、「PDF ファイルを出力する」をクリックすると、入力内容が反映された「欠席・遅刻・早退届」の様式〔様式第 60 号（指定研修）、様式第 71 号（希望研修）〕（下図）が生成されますので、所属校で保管してください。

〔 様式第 60 号（指定研修） 学校保管用 〕

(様式第60号) 令和 年 月 日

| | |
|------------|--|
| 研修種別(年度) | |
| キャリアアップ研修Ⅰ | |
| キャリアアップ研修Ⅱ | |
| キャリアアップ研修Ⅲ | |
| 校長・教頭研修 | |

指定研修講座 届

総合教育センター 部長 様

学校コード番号

学校種別

校長・副校長

職階番号

このことについては、下記のとおりです。

記

| | | |
|-------|-----|------|
| 受講者氏名 | 職 名 | 職員番号 |
| | | |

| | | |
|-------------|-----|------|
| 講座番号 | 講座名 | 講座期間 |
| | | |
| 欠席・遅刻・早退の理由 | | |
| | | |

代替研修講座

| | | |
|------|-----|------|
| 講座番号 | 講座名 | 講座期間 |
| | | |

〔 様式第 71 号（希望研修） 学校保管用 〕

(様式第71号) 令和 年 月 日

希望研修

総合教育センター 研修講座 届

総合教育センター 部長 様

学校コード番号

学校種別

校長・副校長

職階番号

このことについては、下記のとおりです。

記

| | | |
|-------|-----|------|
| 受講者氏名 | 職 名 | 職員番号 |
| | | |

| | | |
|-------------|-----|------|
| 講座番号 | 講座名 | 講座期間 |
| | | |
| 欠席・遅刻・早退の理由 | | |
| | | |

※ 代理受講者がある場合は、下の欄に代理受講者名等を入力してください。

なお、欠席等の代席として、次の教員が受講します。

| | | |
|---------|-----|------|
| 代理受講者氏名 | 職 名 | 職員番号 |
| | | |

欠席・遅刻・早退に係る電子申請の方法 ～ながの電子申請サービス～

すでに利用者登録がお済みの方

[利用者登録せずに申し込む方はこちら >](#)

[利用者登録される方はこちら](#)

既に利用者登録がお済みの方

利用者IDを入力してください

利用者登録時に使用したメールアドレス、または各手続の担当部署から受領したIDをご入力ください。

利用者IDとパスワードを入力して、ログインをクリック

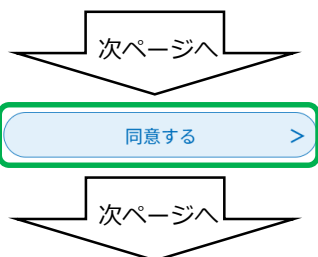
パスワードを入力してください

利用者登録時に設定していただいたパスワード、または各手続の担当部署から受領したパスワードをご入力ください。忘れた場合、「パスワードを忘れた場合はこちら」より再設定してください。

メールアドレスを変更した場合は、ログイン後、利用者情報のメールアドレスを変更ください。

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

[ログイン >](#)



申請者を入力してください。 **必須**

この届けの申請を行う管理職の方の氏名を入力してください。

氏: 名:

連絡先メールアドレス **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先のメールアドレス（管理職と連絡がとれるメールアドレス）を入力してください。（半角入力）

メールアドレス

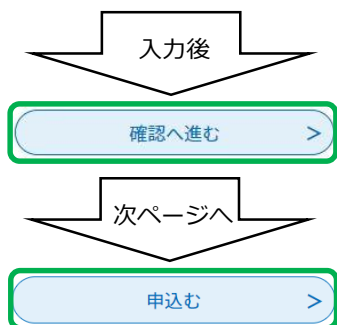
電話番号を入力してください。 **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先の電話番号（管理職と連絡がとれる電話番号）を市外局番から入力してください。（半角入力）

例) 0263-53-8800

電話番号

すでに申請者氏名、メールアドレス、電話番号は入力されています。残りの項目を入力して下さい。



利用者登録せずに申し込む方

[利用者登録せずに申し込む方はこちら >](#)

[利用者登録される方はこちら](#)

既に利用者登録がお済みの方

利用者IDを入力してください

利用者登録時に使用したメールアドレス、または各手続の担当部署から受領したIDをご入力ください。

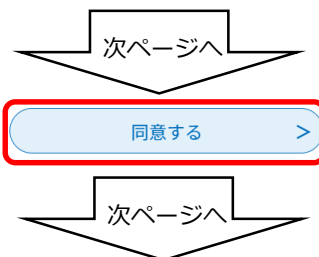
パスワードを入力してください

利用者登録時に設定していただいたパスワード、または各手続の担当部署から受領したパスワードをご入力ください。忘れた場合、「パスワードを忘れた場合はこちら」より再設定してください。

メールアドレスを変更した場合は、ログイン後、利用者情報のメールアドレスを変更ください。

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

[ログイン >](#)



申請者を入力してください。 **必須**

この届けの申請を行う管理職の方の氏名を入力してください。

氏: 名:

連絡先メールアドレス **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先のメールアドレス（管理職と連絡がとれるメールアドレス）を入力してください。（半角入力）

メールアドレス

電話番号を入力してください。 **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先の電話番号（管理職と連絡がとれる電話番号）を市外局番から入力してください。（半角入力）

例) 0263-53-8800

電話番号

申請者氏名、メールアドレス、電話番号は入力されていません。これらの入力も含めて残りの項目を入力して下さい。

